



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力

日本共産党 京都市議員

西村 善美 よしみ

2017年 11月26日(日)

議員活動報告 NO.、281号

○西村事務所 右京区梅津高畠町39
Tel, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町17-405
Tel, FAX 864-2009

安全ミラー更新(嵯峨野)

カーブミラーが付け替えられました。場所は右京区嵯峨野南浦町です。近所の方から、道路の危険箇所が見難いので、ミラーの改善又は新たに設置して欲しいとの要望を受けました。京都市土木事務所へ改善を要望したところ、二つの古いミラーを新しく付け替えました。ミラーを付け替えたことで以前より道路全体が見えるようになりました。



意見交換では、保育園から、職員の人材確保が強く出されました。さらに、食物エネルギー対策や耐震化対策。また職員処遇改善、待機児童対策などの意見が出されました。



11月15日、「いのちと暮らし、雇用と営業、憲法を守り、生かす府政、市政を」求める「いのちと暮らし、雇用と営業を守る 17秋の府市民総行動」(主催:同美行委員会)が市役所前で行われました。

「要求実現」秋の府・市民総行動

日本共産党京都市議員団も参加し、山中団長がマイクをにぎり、「地方創生」の名で「稼ぐ自治体」をつくる

保育園関係者の皆さんと懇談

右京区の保育園長会・保育士の皆さんと11月9日、右京区選出市議員との懇談会が開かれ西村市議も出席しました。毎年、京都市保育予算案についてお話を聞き、意見交換しています。保育園長会から平成30年度の保育連盟からの予算要望の説明があり、議員と参加者の意見交換をしました。京都市平成30年度保

育予算は、①安心して子供を産み育てることが出来る京都の町にするため、保育園を充実の施策。②明日の京都を支える子どもたちを育てるため、保育の内容をより充実する施策。③安全にして安心してすごせる京都の保育園とするため、保育環境と施設の整備を充実する施策。④保育者が今まで以上に自信をもって子どもたちの保育ができる京都の保育園にするため、職員処遇の安定に取り組み施策の四つです。

敬老乗車証「意見公募」で申入れ

京都市が実施した「敬老乗車証市民アンケート」について共産党市議団は21日、アンケートの取り方が恣意的であり、「制度変更」の理由に利用しないよう声明を發表しました。

京都市は既に、敬老乗車証の利用料について、定額負担から利用毎に料金を払う制度へ変更を決めています。今回の市のアンケートでは、死税負担が増えること、利用者負担が1割である



市民の宝 敬老乗車証守ろう

70歳以上がご利用の京都市の敬老乗車証制度について、利用者の負担増に反対する市民団体が16日、11次の署名提出をし、反対署名数は合わせて3万5千筆をこえました。市はすでに、敬老乗車証の定額制交付を止め、乗る毎に支払う応益負担制に変更を決めてしま、多くの市民から批判の声が上がっています。

この声に驚いた市は、敬老乗車証制度の意義を小さく見せ市の財政危機を前面に出し危機感を煽った「市民アンケート」を実施。その結果、「制度変更の意見が多数」との結論を出し、利



ことを強調するアンケートとなっています。市議団は、福祉制度の役割を強調して説明をすべきと求めています。

今日の署名提出でも、「アンケートはおかしい」「負担が増えれば利用出来ない」など批判の声が出されました。団体はさらに取り組みを強めていく計画です。